



西宮市民ファミリーハイキング

《10月例会》

日時：2019年10月20日(日)

コース：阪急上桂～地蔵院～鈴虫寺～

月読神社～松尾大社～阪急嵐山



まつおたいしゃ

∞ 松尾大社 ∞

京都市西部、四条通西端に位置し、東端の八坂神社（祇園社）と対峙して鎮座する。元来は松尾山（標高223メートル）に残る磐座での祭祀に始まるとされ、大宝元年（701年）に文武天皇の勅命を賜った秦忌寸都理（はたのいみきとり）が勧請して社殿を設けたと言われる。

その後も秦氏（はたうじ）により氏神として奉斎され、平安京遷都後は東の賀茂神社（賀茂別雷神社・賀茂御祖神社）と共に「東の厳神、西の猛霊」と並び称され、西の王城鎮護社に位置づけられた。中世以降は酒の神としても信仰され、現在においても醸造家からの信仰の篤い神社である。境内は、神体の松尾山の麓に位置する。本殿は室町時代の造営で、全国でも類例の少ない両流造であり国の重要文化財に指定されている。また多くの神像を有することでも知られ、男神像2軀・女神像1軀の計3軀が国の重要文化財に、ほか16軀が京都府指定有形文化財に指定されている。そのほか、神使を亀とすることでも知られる。

∞ 地蔵院 ∞



この場所は、もともと衣笠内大臣といわれた歌人の藤原家良が山荘を営んでいたところで、寺は1368年（応安元年）、室町幕府管領を務めた武将の細川頼之が尼僧妙性から土地を買取り、寄進したことによって創建された。細川頼之は碧潭周蛟（へきたんしゅうこう、宋鏡禅師）に皈依して出家した。当寺の実質的な開山は碧潭周蛟であるが、碧潭は法兄である夢窓疎石を勧請開山としている。

南北朝時代には勅願寺となって寺運も興隆したが、応仁の乱の兵火により伽藍を焼失し寺運も衰えた。江戸時代までは境内にわずか2つの末寺が残っているだけだったが、1686年（貞享3年）方丈が復興し、寺観が整備された。江戸期には天龍寺に属した。

もとは臨済宗に属していたが、1968年（昭和43年）に独立して単立寺院となっている。なお、一休宗純は6歳で出家するまで母と共にこの寺で過ごしたと伝えられており、2017年には「一休禅師母子像」が境内に建立されている。



10回 石田 晴彦
10回 石田 佐都美
20回 梶原 千代子

70回 佐々木 勲
80回 小池 雅子



∞ 本日のコース ∞

阪急上桂 → 地蔵院 → 鈴虫寺

↓
月読神社

↓
阪急嵐山 ← 松尾大社

今回のハイキングは・・・11月17日(日)

京阪出町柳駅～鴨川～御霊神社～阿弥陀寺～京都御苑～
京都御所～阪急四条河原町（約7km 初級コース）

午前10時 京阪出町柳駅

※ハイキング参加中の事故については、応急処置は致しますが、その他の責任は負いかねます。
健康と怪我の防止に留意しての参加をお願い致します。

問合せ：リソ鳴尾浜・フィットネスクラブ「エフィ」Tel0798-46-1555

当日の問い合わせ専用番号
時間・・・7:30～集合時まで
TEL・・・080-2412-8363